



社会基盤メンテナンスエキスパート 養成ユニット

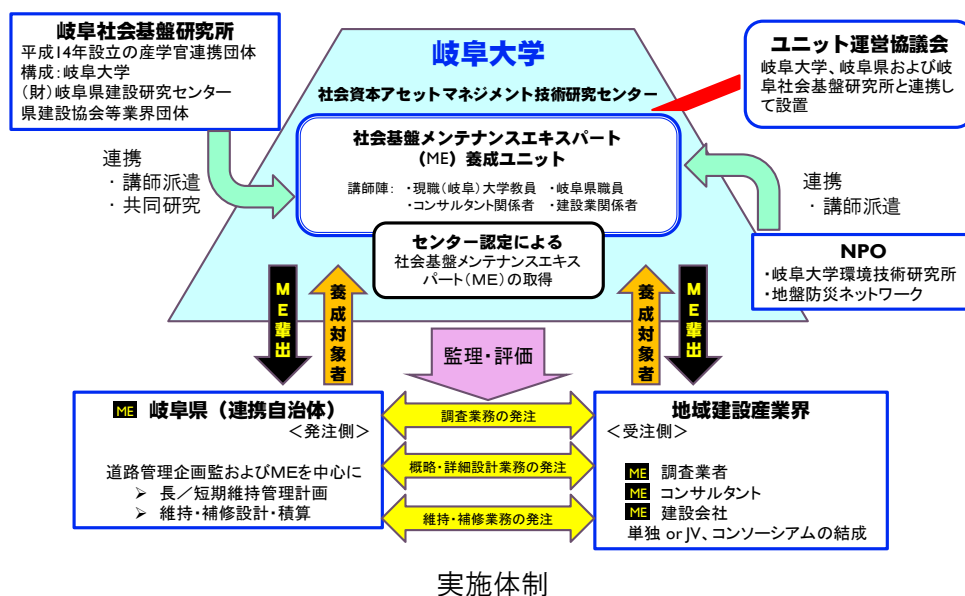
社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニットとは

岐阜県においては、多発する自然災害を被る社会資本の傷みに対しての補修だけでなく、既存社会資本の老朽化に対する整備・維持管理を支えるべき県内建設業界の疲弊が大きな問題となっており、その解決には行政と業界双方の技術力を向上させる取り組みが最重要と考えられます。そのため、岐阜大学では、文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成プログラム」の採択を受け、岐阜県および県内建設業界それぞれの組織の技術者が所定の科目を履修することにより、共通の高度な知識を持った総合技術者（社会基盤メンテナンスエキスパート）を養成することを目的とした「社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成ユニット」を運用しています。さらに、ME養成ユニットの運営およびユニットの高度化・先進化を進めるために、全学組織「社会資本アセットマネジメント技術研究センター」を設立しました。

社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニットは、平成20年度に1回、平成21年度に2回の養成講座を開催し、平成22年3月現在45名のMEが輩出されています。

社会基盤ME養成ユニットのめざすもの

社会基盤ME養成ユニットは、県等土木職員および県内建設関連業界技術者を対象とし、短期集中カリキュラムにおいて所定の科目を履修することにより、共通の高度な知識を持った総合技術者（社会基盤メンテナンスエキスパート）を養成することを目的とします。人材育成目標は、3年目で50人、5年目で100人です。MEは、新たな社会資本の整備、既存社会資本の維持管理・補修の計画・設計・実施技術をもとに地域の活性化に貢献することが期待されています。



ME養成講座は、アセットマネジメントを効率的に行うための知識を習得するための座学（アセットマネジメント基礎科目）、ライフサイクルコストの最小化、品質管理や工程管理などの実務的な知識を習得するための演習（社会基盤設計実務演習）、フィールドで維持管理や防災業務の能力を向上させる実習（点検・施工・維持管理実習）で構成されています。実務に即した講義を実現し最新技術の講義への活用を図るために、現職の大学教員だけでなく、岐阜県、岐阜社会基盤研究所やNPO法人岐阜大学環境技術研究所をはじめとした関連団体などにも講師派遣を依頼し、連携をとりながらME養成ユニットの運営を行っています。

社会基盤メンテナンスエキスパートの養成

社会基盤MEは、社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニットの短期集中カリキュラムの講義を受講し、資格認定試験をパスすることにより認定されます。

- ・対象とする人材
 - ⇒ 県等土木職員：社会基盤整備・維持管理に2年以上携わった経験をもつ方
 - ⇒ 建設関連業界技術者：社会基盤整備・維持管理の調査・設計・施工に3年以上携わった経験を持つ方
- ・ME養成スケジュール
 - ⇒ 短期集中カリキュラムによる少人数制の講義
 - ⇒ 資格認定試験による人材能力保証
- ・MEのミッション

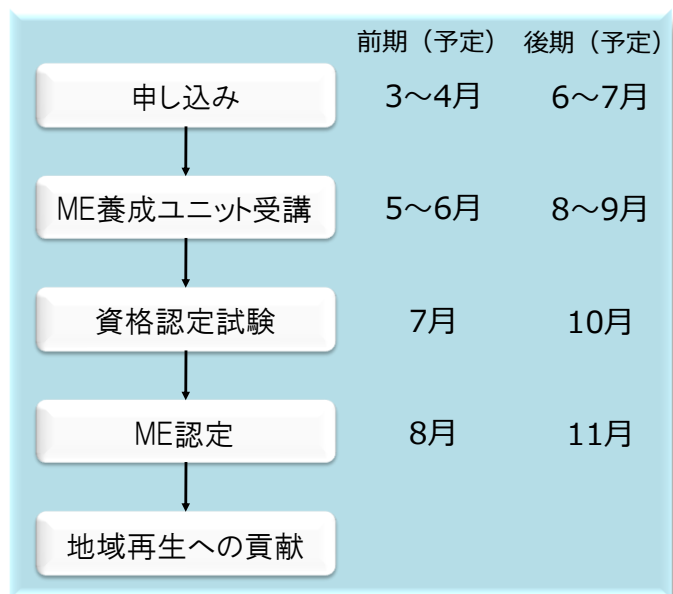
『出身母体に応じた以下の活動を通じ地域再生への貢献』

- ⇒ 県等土木職員：県等あるいは（財）建設研究センターに設立するアセットマネジメント室（仮称）において長／中／短期的な社会基盤の整備・維持管理計画の策定に従事
- ⇒ 建設業界技術者：所属会社やJV、コンソーシアムにおいて防災・維持管理業務で主体的な役割を担い、地域建設業界における工事品質の確保と質の高い技術提案に努める

社会基盤ME養成講座のスケジュールとカリキュラム

防災・維持監理に主体的に携わった経験を持つ自治体職員および業界技術者を対象とし、短期集中（実質20日程度）カリキュラムの講義を受講した上で、資格認定試験をパスすることでMEを認定しています。カリキュラムは、アセットマネジメント基礎科目（座学）、社会基盤設計実務（演習を含む）、点検・施工・維持管理実習（フィールド実習を含む）から構成されています。20日間で80コマの短期集中カリキュラムによって、効率的に高度な知識を持った総合技術者の養成を行っています。

毎年前期の募集が3月下旬、後期の募集が6月下旬に始まります。その時期に募集要項がウェブページに掲載されますので、ご興味のある方は、ウェブページにアクセスするか、センター事務局までお問い合わせください。



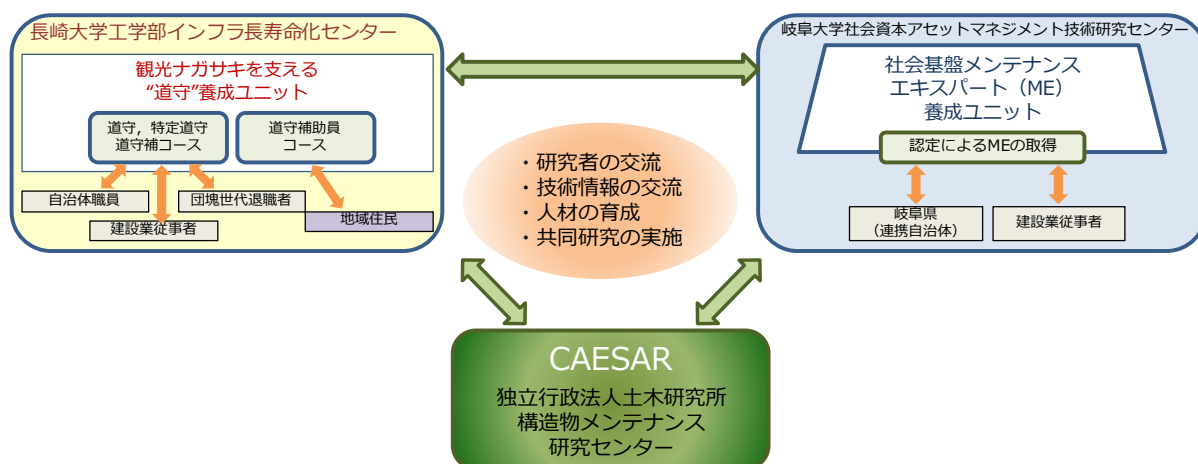
ME養成講座のスケジュール

ME養成講座の短期集中カリキュラム

アセットマネジメント基礎科目	アセットマネジメント関連、アセット情報の収集、リスクマネジメント関連、耐力（劣化）評価モデル、ライフサイクルコスト関連、ファイナンシャル、岐阜県の地質
社会基盤設計実務	自然斜面・落石対策、土構造物（切土、盛土、補強土）、橋梁（補強設計含）、トンネル、舗装、法規、FEM解析等
点検・施工・維持管理実習 （フィールド実習含む）	自然斜面・落石対策、土構造物（切土、盛土、補強土）、地盤、橋梁（点検）、橋梁（補修・補強）、トンネル、舗装、上下水道

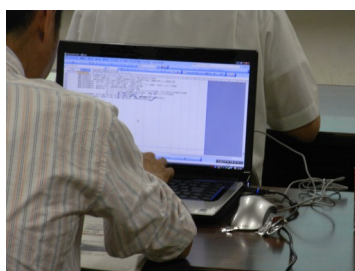
社会基盤のメンテナンスに係る地域人材育成に関する協定

ME養成講座のカリキュラムを継続的に改善するため、平成20年11月に、同様の人材育成プログラム「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」を運営する国立大学法人長崎大学工学部インフラ長寿命化センター、独立行政法人土木研究所構造物メンテナンス研究センター（CAESAR）および国立大学法人岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センターの3者で「社会基盤のメンテナンスに係る地域人材育成に関する協定」を締結しました。



社会基盤のメンテナンスに係る地域人材育成に関する協定

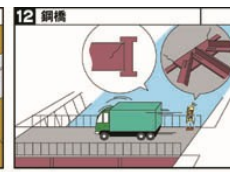
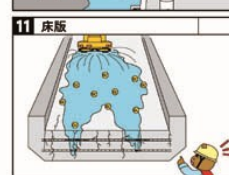
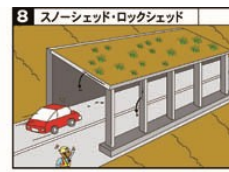
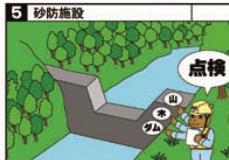
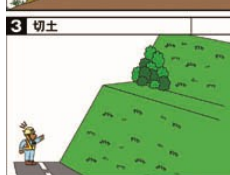
ME養成講座のようす



社会基盤MEの活動

社会基盤ME認定者は、県内の各種団体等での講義実施など地域の活性化に貢献できる様々な活動を実施しています。また、岐阜県においては、岐阜県社会基盤メンテナンスサポーターとの連携事業をモデル的に始めるなど、MEが活躍する場がひろがりつつあります。さらに、様々な社会基盤構造物の点検業務において留意して「見るべき」項目をわかりやすく解説するといった趣旨で、「社会基盤メンテナンス手帳 -ME君

CONTENTS 目次



社会基盤メンテナンス手帳 -ME君の点検十訓- 目次

の点検十訓-」をまとめあげ、平成22年2月に出版しました（技報堂出版：定価1,800円＋税）。それぞれの項目に簡単な解説文が付記されており、維持管理の最前線で活躍される技術者の方々はもちろんのこと、日頃社会基盤の維持管理に携わっていない技術者や、一般の方々にも、社会基盤の点検業務の大切さを理解していただけるよう編集されています。

第3期MEが認定され、総勢45名となったMEメンバーは、MEとしての活動の具体化をめざし2009年10月にMEの会を発足しました。「MEの会」の目的は、今後急速に増大する高齢化社会資本の長寿命化および地域住民の社会資本に対する帰属意識高揚の促進を図り、もって地域住民の安全・安心の向上および地域経済の健全な発展に寄与することです。今後のMEの活動にご期待ください。

社会基盤ME認定により得られる資格

国土交通省中部地方整備局において、河川および道路施設等の維持管理を適切に履行し管理水準の確保を図るために、維持管理に必要な知識と経験を有する「施設等管理支援技術者*」を認定しています。この資格には、河川管理支援士と道路管理支援士があり、平成21年度よりME認定者に道路管理に対し高度な知識・経験を有した者として「道路管理支援士の受験資格」が認められました。平成21年度受験したME認定者の4名が試験に合格し、道路管理支援士として認定されました。施設等管理支援技術者に関する詳細については、下記をご覧ください。

国土交通省中部地方整備局施設等管理技術支援者ウェブサイト：<http://www.cbr.mlitt.go.jp/kanrishien/>

*通常の受験資格は、①道路に関する実務経験5年以上ありそのうち道路管理に関し指導的立場で2年以上の実務経験を有している者、②道路に関する実務経験15年以上ありそのうち道路管理に関し5年以上の実務経験を有しているもの、③技術士（建設部門または総合技術監理部門）の資格を有し道路管理に関する経験を5年以上有している者、となっています。

社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット事務局（〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 工学部E519）
Tel. & Fax.: 058-293-2419 E-mail: ciam-meunit@gifu-u.ac.jp